

各教科の一単位時間の配慮点

	指 導 の 配 慮 点 (授業規律・発問・板書・個別指導・ノート指導等)	評 価 の 観 点			
		関心・意欲・態度を向上させるための手だて	思考・判断を向上させるための手だて	表現・技能を向上させるための手だて	知識・理解を向上させるための手だて
導 入	<p>(授業規律)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイム授業ができるように、教師が早めに教室に行き、生徒に繰り返し指導する。</li> </ul> <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前の学習内容の確認をする。 (小学校の既習教材等を利用する)</li> </ul> <p>(指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・忘れ物がないか確認する。</li> <li>・ノートを開き、学習の準備ができていないか確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の身近な話題から導入する。</li> <li>・必要に応じて、視覚教材を利用する。</li> <li>・小学校の既習教材等を利用して学びの連続性を意識させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な生活の中で体験していることを結びつけて考えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートには、課題、予想、結果や考え方も記入するように指導する。更に、考える上でポイントも記入するように指導する。</li> <li>・小テストなども実施し、計算能力を高めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・覚えなければならない数学用語、数学的な概念は、ノートにまとめたり、教科書にアンダーラインを引いたりするように指導する。</li> <li>・小テストなども実施し、知識・理解の定着を図る。</li> </ul>
展 開	<p>(ノート指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書を写す時間を十分に設ける。</li> <li>・課題を解くときには、考え方がわかるように途中式を書くように指導する。</li> <li>・作図やグラフを書くときには、道具を利用し正確に書くように指導する。</li> </ul> <p>(話し合い指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が論点を整理し、話し合いなどで互いの考えを交流する場を設定する。</li> </ul> <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を解くときのポイントなどを色チョークを利用し、強調しながら解説をする。(キーワードカード等を貼り強調する)</li> </ul> <p>(授業形態)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が説明した後問題を解く時間を設けたり、チームティーチングを生かし個に応じた指導を行ったり、発表の場を多く取り入れ伝え合う学習をしたりする。</li> </ul> <p>(個別指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声かけなど個に応じた指導を行う。</li> <li>・チームティーチングを活用する。</li> </ul> <p>(教材)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・領域の必要性に応じ、電卓、パソコンその他の教材を利用し学習効果を高める。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の理解に応じて、定着を図れるような課題を与える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の考えのよさを教師が認め、意見を発表しやすくする。</li> <li>・机間指導では、個々の生徒に働きかけ、意欲を引き出す。</li> <li>・段階を追って定着を図り、場合によってはできるところから、更にスモールステップで順次定着を確実にし、自信をもって次の課題に取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条件を整理する力を身に付けるために、仮定と結論を確認しながら、証明の流れを考えさせる。</li> <li>・課題解決をするために必要な定理や定義・公式の確認をする。</li> <li>・表やグラフなどを利用して、課題の条件をまとめる。</li> <li>・数量の関係について、具体的に色々と数値を変えてみながら、どんな規則性があるかを見つけ出せるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決の方法で、生徒から出てきた色々な解法の紹介をする。</li> <li>・作図の中に、与えられた条件を記入したり、対応するものに色づけをしたりすることによって、問題解決をするときに必要な定理などを確認する。</li> <li>・反復し取り組める課題プリントなどを用意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決をするための知識や、結果から得た知識や理解を確認するようにする。</li> <li>・知識を獲得するためのワークやプリントを工夫していく。</li> <li>・一斉指導の中で数学用語を復習する時間を設定する。</li> </ul>
ま と め	<p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な自己評価で今日の学習を振り返る。</li> <li>・ワークシートを回収し、授業の取り組みを評価する。</li> </ul> <p>(授業構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に、今日の課題が解決されたか確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な自己評価で、今日の学習を振り返るようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決ができない生徒には、類似した問題などを示すようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しく課題解決をすることができた生徒には、解決する際に使った定理や公式・計算法則などの確認をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことをまとめ、1時間で何を学んだのか、生徒に確認する。</li> <li>・家庭学習に取り組めるように課題を出し、知識・理解の復習を図る。</li> </ul>